

# 安楽寺だより 第49号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話:03-3451-1509 FAX:03-3798-2238

発行者：藤澤 克己（安楽寺住職） ホームページ <http://www.anraku-ji.org/>

（安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します）

## 平穏な日常を手放さないように

今年の冬は厳しい寒さが続くようです。  
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めてからおよそ2年が経過しました。当初は何も分からず、行動が制限され、不安だけでなく抑圧された気分でも過ごしていました。

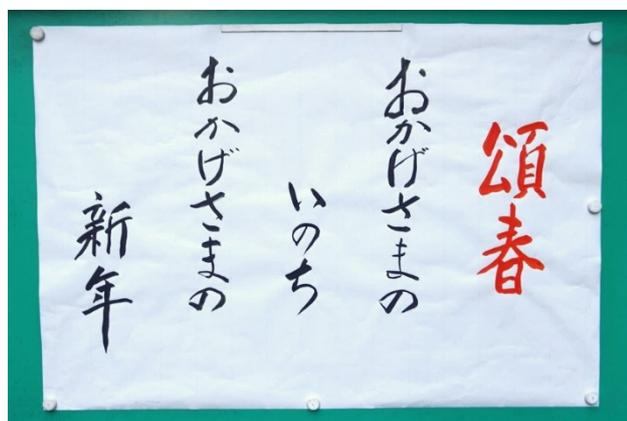
今はワクチン接種も進み、適切な対策を講じることで、以前のような日常を少しは取り戻しつつあるのかなと感じています。



初日の出（多摩川河川敷）

たしかに窮屈な思いで過ごしてきましたが、これまで見えなかったことが見えるようになったという側面もあると思います。例えば、何気ない日常がどれだけ愛おしいかを思い知らされた、という実感を持つ人は私だけではないはずです。

しばらく落ち着いていた新型コロナも、第6波が遠からず押し寄せてくるようです。この2年間で得た経験知を活かして平穏な日常を手放さないようにしましょう。



### 《あれこれ抄》

▼冬の「安楽寺だより」をお届けします▼年末に完結したNHK大河ドラマ『青天を衝け』では日本資本主義の父と称される渋沢栄一が経済だけでなく道徳を重んじる姿が描かれました▼幼い頃に母から「あんたがうれしいだけじゃなくて、みんながうれしいのが一番なんだ」と教えられた場面が心に残りました▼正月恒例の箱根駅伝をテレビで楽しみました▼優勝した青学の原監督がインタビューで「学生たちは自立と自律を持っている」と褒めていたのが印象的でした▼襷たすきが渡らなかつた悲しい場面を含め筋書きのないドラマに胸が熱くなりました▼おかげさまで寺の者はみな無事に新年を迎えられました▼笑顔で過ごせる時間がより多い一年になりますように

# 安楽寺報恩講をお勤めしました

去る11月10日に安楽寺の「報恩講」をお勤めしました。

例年と同じように打敷を掛けて本堂内陣のお荘厳を整え、懇ろに正信偈しょうしんげを読誦しました。出仕は住職のみでしたが、総代さんと寺の者が本堂に参列し、インターネットを利用したライブ配信も行いました。



●2021(令和3)年報恩講の記録動画 → <https://youtu.be/gUt5RP0DKMY>



## 令和三年 安楽寺総追悼法要のご報告

去る12月26日(日)に、昨年一年間に亡くなった方々の「安楽寺総追悼法要」を合同で執り行いました。

事前にお預かりしていた亡き人へのメッセージを尊前に供えて、法要の趣旨を奉告する表白ひょうびやくの中で故人のお名前をお一人ずつお読みし、讃仏偈さんぶつげのお勤めをあげさせていただきました。



当日は7家族から13名が参加され、法要後には車座になって分かち合いの時間を持ちました。最初のうちは緊張していた方も時間とともに少しずつ打ち解け、法要に参列した感想や亡き人との思い出話などをそれぞれに語ってくださいました。

心穏やかな時間を過ごせた、ずっと泣いてばかりなのは自分だけではないと知ることができて良かったといった感想や、伝道掲示板の「私を見てくださる人がある」という言葉が胸にしみたという思いを聞かせていただきました。

仏さまの前だから安心して過ごしていただけたように思います。



## 「浄土真宗のみ教え」について

## ご門主「ご親教」



浄土真宗本願寺派第25代門主  
大谷 光淳 さま

2021(令和3)年春の法要における御門主のご法話(ご親教)の中で「浄土真宗のみ教え」が示されました。来たる2023年に「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えするにあたり、浄土真宗のご法義(親鸞聖人が明らかにしてくださったみ教え)がとくに若い世代の人たちにわかりやすく伝わるようにと願って、その肝要が示されたものです。

ぜひ声に出して読み、親しんでいただければと思います。

### 浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といたदैて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合ひ

日々に 精一杯 つとめます

## 年回法要(法事)のご案内

年回法要は亡き人のご命日を縁としてお勤めする「仏法行事」です。故人を偲び、生きている私たちが自らのいのちに思いを巡らせる貴重な仏縁です。

ご法事をきっかけに、家族や親戚の方が集まってくだされば、仏さま(故人)もきっとお喜びになることでしょう。



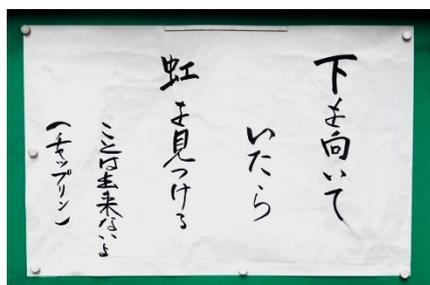
## 2022(令和4)年 年回表

五十回忌	三十七回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌	年回忌
昭和48年	昭和61年	平成2年	平成8年	平成12年	平成18年	平成22年	平成28年	令和2年	令和3年	亡くなられた年

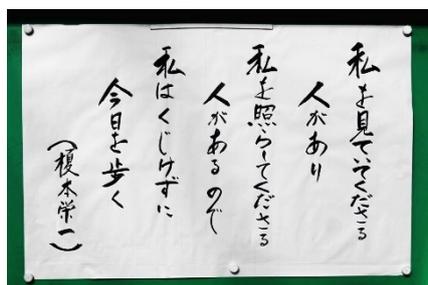
みなさまには2カ月前を目安にお知らせするようにしています。今年が年回法要に当たる方はご予約いただきますように。

## 月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

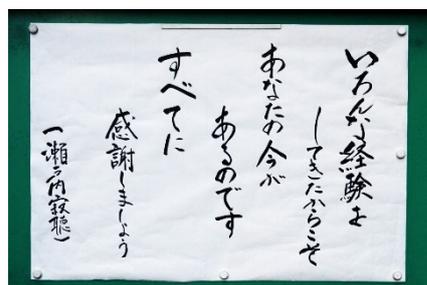
お寺の入り口の伝道掲示板に、その時々を言葉に掲げています。(筆：前住職)



2021年11月



2021年12月



2022年1月



## 落語で楽しく学ぶ 相続・終活・認知症対策



**KOKORO アカデミー講座**※を安楽寺本堂にて開催します！

※KOKORO アカデミーは築地本願寺 GINZA サロンで開催されている講座群です。どこの家庭でも起こり得る相続問題。税金や不動産、介護、相続法改正など分かりづらい話も落語で笑いながら学習できます。

日時： **2022年2月26日(土)14:00～15:30**

**参加費無料**

講師： **こころ亭久茶** (こころてい きゅうちゃ) 氏

定員： 20名 **★参加希望者は住職までご連絡ください**

※新型コロナウイルスの感染防止策を整え安全に配慮して開催します。

## ものがたりを楽しむ会 ～聴く物語～

**参加費無料**

わけいしゃ **話芸写**※有志による「朗読会」を安楽寺本堂にて開催します！

※話芸写は声のプロが率いる語りの老舗です

亡くなった父と娘の心温まる話をはじめ、短い物語を皆さんの想像する朗読とまったく違う「語り」でお届けします。プロのナレーターも出演！

日時： **2022年3月5日(土)14:00～15:00**

定員： 20名 **★参加希望者は住職までご連絡を**

※新型コロナ感染防止策を整え安全に配慮して開催します。



谷合律子氏  
話芸写所属ナレーター

竹中正雄氏  
安楽寺総代

若宮橋氏

「定例法話会」の今後の予定 (毎月**第3日曜日** 午後**2時**～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

**1月16日(日) 2月20日(日) (3月はお休みです)**